

2019年度第5回理事会 議事録

一般社団法人 日本損害保険代理業協会

日 時：2019年10月11日（金）11：00～15：40

会 場：日本代協会議室

出席者：全理事数 18名、出席理事数 18名、出席監事数 3名（杉本監事、渡辺監事、吉川監事）

会長 金子智明氏は、議長席につき、出席理事数の確認を行い、本理事会は定款第33条に基づき、有効に成立した旨を報告して開会を宣し、直ちに議事に入った。

会長挨拶骨子

・台風15号等の被害に関する修理・復旧が進まない中、非常に強い勢力を保ったままで風も雨も気になる台風19号が東海、関東に上陸する恐れと迫ってきている。被災対応、防災・減災対応でご多忙の中の参集に感謝申し上げる。活動拠点に戻られてからもお客さま対応、復旧・復興に我々代理店の役割を果たしていこう。

< 前回理事会（9/12）以降の業務報告 >

- ・昨日10/10 2019年度第2回目の正副会長・専務常務理事合宿打ち合わせを行った。2019年度の各委員会への諮問事項の進捗状況や課題ならびに代協運営に関する課題について論議した。特に地域担当理事にお願いしたいことがある。それぞれが一般社団法人である各代協の運営に関して、財政状況、行事企画状況、人材育成、事務局の関わり方など一歩踏み込んだところまで、各代協会長・役員と打ち合わせを行い、法人運営を支援していただきたい。踏み込んだ「対話」をお願いする。
- ・本日は理事会終了後に、年間2回開催が恒例となった損保協会役員との夕食懇談会を開催する。今回は日本代協側が幹事役で、正副会長・石川理事・中島理事・野原理事・野元専務理事が出席し、さらなる関係強化を図る。
- ・11/1-2は第9回日本代協コンベンションを開催する。後ほど、事務局から役員用マニュアルに基づき、当日のタイムスケジュールや各理事の役割、留意事項について説明があるので、しっかりと確認いただきたい。なお、次年度は節目となる第10回の開催となるため、今後の企画に工夫を凝らしたい。
- ・本日、あいおい社にて、「各代協との関係強化」という社内通達が営業店向けに発信された。12月末までを強化期間として、仲間づくり推進（会員増強運動）、代理店賠償の普及に協力するという内容である。早速、各地にてあいおい社と打ち合わせを行ってほしい。

〔審議事項〕

1. 災害見舞金の支給

事務局より、自然災害による会員の被災状況の報告があり、確認・共有された。

現時点では、災害見舞金の支払い基準に該当する被害報告はなく、今後の新たな被害報告に関しては、状況をみて、義援金支援も含めて、改めて理事会に諮ることとなった。

【主な説明・意見】

- ・千葉県代協は現時点、被害情報を集約中である。
- ・茨城県代協からは5件の被害報告があったが、見舞金規定の対象となるものはなかった。
- ・三重、四日市を拠点とする石川理事から、被災状況報告とBCPの再構築のポイントにつ

いて具体的事例に基づき、説明があった。

- ・10/4、関東財務局理財部金融監督第4課の佐藤課長から、千葉県被災対応（代理店ヒアリング）の実施への協力要請が入った。被災契約者を多く抱える千葉県の3会員*を紹介、10/8、9に佐藤課長、調査官が現地に出向き、ヒアリングが実施された。

金融庁の遠藤長官の考えでもある「机上の論議ではなく、現場の声を聴く」対話の姿勢そのものである。代理店ヒアリングの内容を踏まえて、今後保険会社にもヒアリングを行う。

*（株）アークス 辰野方哉氏、(有)N & Bホールディングス 今西英人氏、(有)東海千葉保険 栗田秀美氏にヒアリングに協力いただいた。

佐藤課長からはヒアリング実施後、丁寧なお礼メールをいただいた。概要は次のとおり、「日頃、我々は監督者として法律に基づき体制整備等を求めています。代理店の方々におかれましては、適切な保険募集に終わることなく、むしろ、この度のような自然災害にも、真摯に向き合い、そういった時だからこそ、そこ（現地）に居て、逃げず、投げ出さず、揺るがぬ強い意志を貫き、自らも被災者でありながら、被災地でお客さまと向き合っている姿や言葉に触れさせていただき、心から感動しました。」

「今後、予定している「60社ヒアリング」におきましても「現場の声」や「現場から見える景色」をしっかりと感じ取って・持ち帰り、当局幹部をはじめとする各方面に対して、我々の言葉として伝えさせていただきたいと思います。」

〔資料 審1.〕1.慶弔見舞規則（P.1）

〔資料 審1.〕2.台風15号関連事故受付状況（P.2）

〔資料 審1.〕3.台風・大雨被害 被害状況確認レター等（P.3-4）

〔報告事項〕

1. 事業計画進捗状況にかかる報告

（1）地域別事業計画進捗状況

地域担当理事から、事業計画進捗状況について報告があり、共有された。

【主な内容】

- ・ブロック協議会で、日本代協アカデミーに関する討議の時間をもった。参加者に利用実態を確認したが、試してみたという者は2～3名/40名という実態だった。まずは役員の実践から仕切り直し、「試してみて、習慣化して、要望を上げる」という流れを作っていくたい。

コンサルティングコースの募集に関しては、福岡県代協作成のちらしを横展開活用する。PR企画は、好天の青い空・青い海を背景に気持ちのいい収録ができ、一体感醸成の後押しにもなった。仲間づくり推進ほか事業計画の遂行に関する後半戦の取組意識を高揚できた。

- ・入会目標を達成した代協もあるが、自主目標（安定的かつ積極的な運営が可能となる会員数）について改めてすり合わせする。

出遅れや停滞が見える代協に関しては、各代協の個別事情に応じた支援を展開する。

- ・日本代協アカデミーについては、料金体系や支払方法の改定を転機に、推進力があがった。

人材育成研修での中島理事のセミナーが好評だった。重い気持ちで臨んだ参加者から「目からうろこ、参加してよかった、感銘を受けた、見習いたい。」と賛辞が続いた。

防災啓発員認定研修も3回開催され、認定者が増えている。

外来魚駆除活動には、203名の参加があった。

- ・CSRや教育委員の間でグループLINEによる情報交換が盛んになり、活気が見える。一方で活用が進んでいないブロックもあり、課題である。

10/18-19でブロック合同のミニコンベンションを開催する。金子会長にも参加いただき、当日の午前は地域の保険会社訪問を実施いただく。

- ・セミナーを活性化の起点として企画開催することが浸透し始めてきた。セミナー企画や代協の運営に苦戦している代協があり、個別支援が必要である。

小平政治連盟会長による政連ミニセミナー(30分版)は、仲間づくり推進に有効である。

- ・日本代協アカデミーの推進は、背景の理解に裏付けされた熱い思いをもった会長がいる代協では、じわっと浸透してきている。代理店内の募集人全員登録を熱く推進している。「東北財務局・損保協会東北支部・代協」懇談会は30年以上継続して開催している。財務局の講話が有意義だった。

〔地域別委員会別資料〕地域別事業計画アクションシート(地域別委員会別資料P.1-24)

(2) 委員会担当理事からの報告

企画環境委員会

木下委員長から、資料に基づき、諮問・推進事項の推進結果、現状の課題と今後の対応策について報告があり、共有された。

【主な内容】

- ・前回委員会では、2つのセミナーを開催した。公正取引委員会講師による独禁法セミナーと警視庁サイバー対策本部の警部補講師によるサイバーセキュリティ対策セミナーの2つ。
- ・共通化・標準化推進項目に関しては、顧客の利便性・代理店募集人の業務効率化・保険会社のコスト削減につながるものと通知して、全ブロックから95項目の提言を集めた。
- ・代理店賠償の普及推進では、兵庫県代協が10分版PPTを活用し、数多くの業務連絡会セミナーを継続して実践している。
- ・保険会社の代理店戦略により、統廃合が強力に推進されているが、ひざ詰め協議の場もなく、寄り添っているとは言えない対応事例が報告されている。

〔地域別委員会別資料〕企画環境委員会報告シート(地域別委員会別資料P.25)

教育委員会

石川委員長から、資料に基づき、諮問・推進事項の推進結果、現状の課題と今後の対応策について報告があり、共有された。

【主な内容】

- ・日本代協アカデミーの展開
- ・10月7日集計データでは、1,471店3,192IDとなっている。福井が134の目標に対して161IDと達成率120.1%、島根が57の目標に対して64IDと112.3%で目標達成している。料金体系・支払方法の改定により、募集人が多く在籍する会員フォローが進み

始めている。試用者から要望があがっていた「コンテンツ内容に関するサイトマップ」を早急に作成する。今、財務局モニタリングで注目されている階層別に「募集人ごとの教育のエビデンス（含む理解度の把握）」や「代理店の年間教育計画の策定」の事例提供が有用との要望があがっていた。

また、情報コンテンツに関しては、制作に関してスピード感に欠けると反省している。各委員会と連携を強化し、収録・シナリオ作成・企画と逆算して期日管理を強化する。

なお、10月に発送された利用料金請求書の宛先に法人名がもれていることが判明した。お詫びと「手書き追記」で対応いただきたいことを、申込者への個別メールと各代協へのメールレター配信で連絡した。ご迷惑をおかけした。

- ・ 損害保険大学課程の運営・検証・改善
- ・ 10月は第1回セミナーの最終実施月で、11月からは第2回セミナーが始まる。セミナー運営への変わらぬご支援をお願いします。
- ・ トータルプランナーも200万人を超える損害保険募集人の中でまだ14,116名である。次回合同運営会議で損保トータルプランナーの将来像について論議することを先日、損保協会に申し入れした。代理店内の保有率を上げることや日々研鑽し続ける姿勢醸成につなげていきたい。
- ・ ベストプラクティス事例の収集と展開（代理店の収益向上・体制整備強化に資する好取組事例の収集と展開）
- ・ ブロック協議会の議題に取り上げられているかを再確認いただきたい。
- ・ P Tで協議し、一斉メール配信による事例収集を開始している。第一弾のBCPについては想定を上回る160件の返信があった。第二弾は高齢者・障がい者対応を配信中。今後は、規模特性に関して把握できるよう「募集人数」も回答いただく仕組みに改定し、規模別の好取組事例の集約、提供を検討する。

〔地域別委員会別資料〕教育委員会報告シート（地域別委員会別資料P.26）

〔資料 報6.〕「日本代協アカデミー」代協別ID登録状況1007（資料P.15-17）

組織委員会

中島委員長から、資料に基づき、諮問・推進事項の推進結果、現状の課題と今後の対応策について報告があり、共有された。

【主な内容】

- ・ 情報と熱が伝わる組織づくりの推進
- ・ 各地の組織委員に「熱を伝えるための取組や行事」について回報を求め、集約し、情報共有し直した。旬なテーマのセミナー化が得意な大阪の事例や北海道の「船漕ぎレース」のチーム名「あっ、地震！入ってますか？地震保険」の事例などを共有した。
- ・ 組織委員長は副会長、各支部長は組織員という東京代協の組織は参考となる。
- ・ 各代協ならびに各会員のホームページの活用推進（広報との連携）
- ・ 各代協ではホームページの運用ルールを決めていないところが多い。東京代協、大阪代協の改定後のホームページが素晴らしい。東京代協のホームページ役割図(令和元年度)を提供いただいたので、参考までに資料添付する。
- ・ 仲間づくり推進（正会員増強運動）

- ・表彰の基準となる「入会目標数」にだけ目が行き、肝心な「自分の代協の安定的かつ積極的な運営に必要な会員数」を確保するための自主目標数が共有されていない代協が少なからずある。各会長の意識改革が必要である。

・国民年金基金の加入希望者紹介契約の締結状況

- ・締結状況や紹介料の紹介者と事務局の分担割合について、情報共有した。

〔地域別委員会別資料〕組織委員会報告シート（地域別委員会別資料 P.27-31）

東京代協ホームページ役割図令和元年度（地域別委員会別資料 P.32）

CSR委員会

小田島委員長から、資料に基づき、諮問・推進事項の推進結果、現状の課題と今後の対応策について報告があり、共有された。

【主な内容】

- ・「ぼうさい探検隊」は、11月6日が提出の最終締切日である。
- ・10月4日現在、応募141件（前年101件）・提出26件（前年15件）である。岩手県代協は3件提出で目指せ、三冠王の1冠を獲得した。応募「0」代協もなくなった。また昨年より提出数が多くなった代協も12代協ある。あと1か月で締め切りとなるので、応募に留まることなく提出が必要であることを今一度各代協に周知する。地域担当理事はじめ、皆様のご支援をお願いする。
- ・中小企業のサイバーセキュリティ対策の啓発活動の実施
 - ・自分自身、サイバーセキュリティセミナーを3回受けたが、漸く意味合いが腑に落ちた。警察も都道府県により力の入れ方が異なるようなので、マカフィなどのベンダー企業との連携も有効である。各地のセミナー計画の参考としてほしい。
- ・防災・減災の具体的な取り組みの検討（含むハザードマップの活用推進等）
 - ・台風15号の被害状況やお客さま対応に関して、情報交換、意見交換を実施した。

〔地域別委員会別資料〕CSR委員会報告シート（地域別委員会別資料 P.33）

広報委員会からの報告

野原委員長から、資料に基づき、諮問・推進事項の推進結果、現状の課題と今後の対応策について報告があり、共有された。

【主な内容】

- ・日本代協ホームページのリニューアル
 - ・11月1日のコンベンション会場でリリースする。「代協の魅力を伝える動画」の出来栄に違和感があったため、総力をあげて再作成にかかっている。サウンド・ロゴも入れたいと考えている。
- ・PR企画
 - ・8月に撮影を開始し、東京、北海道、本部、九州北、九州南、四国の撮影を終えている。各地区では、制作への関わりから一体感が醸成されており、テンションが高揚している。制作の状況について、各代協のホームページやYouTubeで載せたいと盛り上がっている。日程の確認はじめ、収録への協力支援をお願いする。
 - 代協のPRとして、11月1日22時15分から千葉テレビにて放映される「ホリプレゼ

「ツ求人任三郎がいく！」に金子会長と野原広報委員長が出演する。(収録済)
ものまね芸人のホリさんとアシスタントの神谷文乃さんが会議室に訪れ、収録した。

・「みなさまの保険情報」の活用推進

- ・購入者増強が推進できておらず、購入率 4.3%と停滞している。リニューアルするホームページの動画で「みなさまの保険情報」の活用事例を盛り込み、情宣する。

〔地域別委員会別資料〕広報委員会報告シート(P.34)

ビジョン委員会

高橋委員長から、資料に基づき、諮問・推進事項の推進結果、現状の課題と今後の対応策について報告があり、共有された。

【主な内容】

前回委員会を福岡で開催した。会員資格・会費体系や代協経営支援策の検討・提示するにあたり、組織活性化が図れている福岡県代協の3役ならびに事務局との意見交換が不可欠と考え、経費差額を参加委員各自が負担したうえで福岡で開催した。会場は中島理事のグッド・サポート社の会議室を借用した。合わせて社内見学もさせていただいた。

・代協正会員、一般会員、賛助会員資格のあり方の検討

- ・会員資格と会費体系については3パターンを提示する方針であるが、福岡県代協との情報交換でイレギュラーケースについても確認できたため、改定検討に当たっての手順や注意事項をまとめて、各代協会長にお知らせする必要があると感じている。会員の募集人数を把握し、会費のシミュレーションができるシート(エクセル)も作成予定である。

・大規模災害時の鑑定補助制度創設に向けた検討と折衝

- ・サポート制度適用の損害区分について、一部損から小半損、一目全損まで広げたいと考えている。共通化・標準化と合わせて、損保協会に提案する予定である。その前提として、代理店としてBCPの策定や要員の代替性確保などの要件を満たす準備が必要と考える。

・代理店の体制協会に向けた支援策の検討・提供(サポートデスクと連携)

- ・セミナーテーマの選定に関する連絡は多いが、個別の問い合わせは10件程度とまだ少ないため、改めて情宣用ちらしを作成する。

・自主取組事項(損害保険基礎講座のCD販売)

- ・損害保険基礎講座は損保版・生保版のCD販売をまもなく開始する。Windows版であるため、MacやiPad利用では多少の不具合がでる可能性がある。(日本代協アカデミーでも取り上げていく予定である。)

〔地域別委員会別資料〕ビジョン委員会報告シート書(地域別委員会別資料P.35)

2. 前回理事会(2019.9.12開催)以降の主な業務報告

(1) 仲間づくり推進 9月末状況ならびに「目指せ、三冠王！」

【主な内容】

- ・2019年度は、9月累計で入会168店、退会399店、合計231店(前年度は入会164店、退会368店で合計204店)、累計で11,914店となった。
- ・代申会社別では、東海日動85店、損保ジャパン日本興亜76店、三井住友24店、あいお

い 19 店、AIG 15 店など減少となった。

- ・代協別では鳥取、奈良、大阪、京都、岡山、佐賀が入会基準目標を突破し、1 冠を獲得した。一方で入会が「0」と苦戦している代協が 8 代協ある。
- ・専業換算組織率では、全体では 47.3%、京都 80.3%、高知 79.2%、香川 78.3%、滋賀 71.7%、鳥取 71.6%、徳島 70.2%、岡山 70.1%と 70%を超えている。
- ・「目指せ、三冠王！」では、9 月末時点で 11 代協が 1 冠を獲得している。
- ・表彰基準とした「入会数」達成への取り組みももちろん重要だが、自分の代協が安定的かつ積極的な運営を行うために必要な会員数について、自主目標を確認し合っていただきたい。
- ・「代協の魅力とは」(席上配付資料 P.7-8) をリニューアルしたので、仲間づくり推進や動画制作に活用いただきたい。

〔資料 報 1.〕仲間づくり推進 9 月末(代協別・代申社別)(P.5-6)

〔資料 報 2.〕「目指せ、三冠王！」ニュース 1007 (P.7)

(2) 代理店賠償責任保険「日本代協新プラン」更新状況

- ・2019 年度の日本代協新プランの更新結果は、最終の集計中であるが、10 月 2 日(水)10 時集計 10,020 件 195,314 千円(2018 年 10 月 10,048 件 193,761 千円)と 28 件、1,553 千円の増収という状況である。新規 252 店・継続 9,768 店で継続率 96.4%、全国加入率 84.0%(+ 0.8%) 更新に際しての課題は、締切の遵守である。9/4(火)を手続締切日としていたが、1,519 件 14.5%(締切時未更改 1,519 件/更改案内数 10,443 件)が未了であった。(前年は 16.0%1,665 件)
- 不備状況に関しては、昨年の 2.9%(295 件/10,056 件)と比較して、今年は 10/2 日時点で 2.6%(262/10,020 件)と対前年 31 件と微減している。更新に当たり、P D C A を回し、募集帳票類を分かりやすく改定し続けてきたこと、ならびに、損害保険トータルプランナーの認定番号の確認方法を粘り強く説明してきたことが奏功している。

〔資料 報 3.〕2019 年度「日本代協新プラン」(代理店賠償)更新状況 (P.8)

(3) 損害保険大学課程

【主な内容】

損害保険トータルプランナー認定状況等

・2019 年 8 月末時点	損害保険トータルプランナー	15,816 名 (+ 211 名)
	認定有効者数	14,116 名 (+ 198 名)
	代理店検索機能登録	3,954 店 (+ 31 店)
	損害保険プランナー	84,284 名 (+ 581 名)
	有効認定者数	41,445 名 (+ 257 名)
	ゴールドカード保有者	6,527 名 (+ 124 名)

〔資料 報 4.〕損保大学課程各コースの認定状況等 (P.9-10)

コンサルティングコース受講勸奨

- ・受講申込受付期間：2019 年 12 月 1 日(日)～2020 年 2 月 14 日(金)
- ・紙媒体の募集ツールは 10/11 (金)に各地に到着する。
- ・各代協の早期目標達成へ向け、行動計画・役割分担の確認をお願いする。

〔資料 報 5.〕募集ツールの配布依頼ならびに受講勸奨の積極的推進 (P.11-14)

「損害保険トータルプランナー認定授与式」準備状況

- ・今年度は12月6日(金)15時~19時、イイノホールにおいて開催する。
- ・参加者：新規トータルプランナー(8月末認定取得者データに基づき、損保協会が順次案内するが今回も先着順となる見込みである)、金融庁横尾保険課長、各消費者団体役員、金杉協会長、金子日本代協会長、損保協会岩崎専務理事 他
- ・特別記念セミナー：吉田和央先生(森・濱田松本法律事務所)テーマ：顧客本位の業務運営関連(仮)
- ・日本代協からは会長、在京の副会長、教育委員長等も参加し、事務局も運営スタッフとして参加する。(参加者は、事務局にて調整のうえ、報告する。)

(4) 日本代協アカデミー登録状況等

- ・10月7日(月)集計の登録状況では福井県代協が登録161/目標134と120.1%、島根県代協が登録64/目標57と112.3%の達成率となった。全体では1,471代理店で3,192名がID登録済。利用料金請求書が10月月初に発送したが、請求書の宛先に法人名が漏れており、「手書き追記」対応などご迷惑をおかけしていることをお詫びする。

〔資料 報 6.〕日本代協アカデミー代協別ID登録状況 (P.15-17)

(5) 大学講座講師プレゼンテーションスキルアップ研修

- ・10月8日(火)10時30分~17時の予定で、日本代協会議室にて6期目の研修を実施する。
- ・対象地区から報告のあった7名と教育委員会副委員長2名が参加する。
- ・講師は、東京海上日動HR A社の角田政史講師

(参考) 2019年度後期連続講座実施予定

埼玉大学 11/18、琉球大学 12/3・1/14、九州大学 12/18、東北大学 12/24、金沢大学 1/15、名古屋大学 1/10

(6) 第9回日本代協コンベンション準備状況

- ・11月1日(金)11:10amグランドニッコー東京台場B1ハーモニー集合 11:15amより説明開始
- ・お願い事項
理事はお迎えする側であり、ホストであることを銘肝いただきたい。
本会・懇親会等が終了する前の2次会等のセッティングはしない。
来賓挨拶時等における参加者の私語等の監視役でもある。(なお、来賓挨拶時の静粛を確保するための具体策を検討し、実践したい。例えば、一旦照明を落とすなど。)
分科会等においても同様に監視役をお願いする。
- ・詳細については、第9回日本代協コンベンション(日本代協役員用マニュアル)を確認いただきたい。
- ・会員懇談会での事前質問が4件届いている。本理事会での回答案協議に基づき、回答を作成のうえ事前にPDFで配付する。

〔資料 報 7.〕1.第9回日本代協コンベンション(役員用マニュアル)(別冊席上配布資料)

〔資料 報 7.〕2.会員懇談会事前質問内容(席上配布資料P.1-5)

(7) 2019年度事業計画に関するご提言依頼提出状況

- ・11月15日(金)を提出期限として通知している。(現在のところ提出は1件)
〔席上配付資料.〕2019年度日本代協事業活動に対するご提言(席上配付資料P.6)

(8) 第8回国際保険流通会議 in 東京 2019 概要

- ・11月16日(土)10時30分～16時40分 於:日比谷コンベンションホールにて開催される。
パネルディスカッションに金子会長が登壇する予定である。
(コーディネーターは、奥住 JC 保険部会長、損保協会の講演に続き、パネルディスカッションのパネラーとして、日本代協 金子智明会長、ブローカー協会 平賀理事長、RM&C 協会 松本副理事長が登壇する。参加申込用紙は資料に添付、参加費用は@3,000円、積極的に参加いただきたい。

〔資料 報9.〕15.第8回国際保険流通会議 in 東京 2019 (P.55-56)

3. その他

(1) 業法改正対応に関する最新情報

- ・関東財務局のモニタリング質問票を資料に添付しているのので、確認いただきたい。すでに対象先には送信済で、戻ってきた回答をみて訪問先の選定を行う。損保代理店の対象選定基準は、損保乗合3社以上、従業員10名～300名未満の兼業代理店であったが、損保専属の先にもアンケートが送られていた先があった。生保ルートで選定されたものと思われる。

当局は、新たなモニタリングの実践にあたり、「実効性ある対話」を行うために「心理的安全性」を確保することを重視しており、威圧的な姿勢での聴取は厳禁と考えている。今回のモニタリングはもちろんフラットで臨むものだが、外部の目でのチェックと受け止めて前向きに捉えて取り組めばいい。

モニタリング結果の集約、講評は2020年2月中旬以降になると思われる。3月10日(火)の臨時総会後の全国会長懇談会に続くセミナーにて、佐藤寿昭関東財務局理財部金融監督第4課長に、ヒアリング結果に関する所感を述べていただく予定である。

2月19日に埼玉県代協60周年記念式典にも、佐藤課長にご臨席いただくことになっている。

- ・9月30日(月)に野元専務が関東財務局に呼ばれ、14時～16時まで「代理店の現状と課題」「地域の代理店は何について悩んでいるか」などについて、金融監督第4課の調査官、金融検査官合計11名に対して、説明および質疑応答を行った。その後16時～17時まで総括金融検査官室にて個別情報・意見交換を行った。当局への協力に対して、感謝の意をいただいた。

(2) その他

- ・添付の資料により、業界に関連する情報を確認いただきたい。

11/8-9に開催される鑑定人フォーラムでは、日本代協アドバイザー錦野裕宗弁護士と日本代協理事中島克海組織委員長が「顧客本位の業務運営」について講演とパネルディスカッションを行う。申込要領は添付資料のとおりで、参加費用は@3,000円である、積極的に参加いただきたい。

〔資料 報9.〕1.第6回損害保険鑑定人フォーラム(P.30-31)

〔資料 報9.〕2.週刊東洋経済 生損保特集抜粋(P.32-33)

〔資料 報9.〕3.代理店経営サポートデスク相談状況(P.34)

〔資料 報9.〕4.国民年金基金加入希望者紹介契約締結状況(P.35)

- 〔資料 報 9.〕 5.ふうたのワンポイントレッスン part4vol.6 (P.36-37)
- 〔資料 報 9.〕 6.ぼうさい国体 1020 ちらし (P.38)
- 〔資料 報 9.〕 7.サイバーの話ちらし (P.39-40)
- 〔資料 報 9.〕 8.0920 保毎記事 栃木損保協会コラボ地震セミナー (P.41)
- 〔資料 報 9.〕 9.0925 保毎記事 明るい未来の会 (P.42)
- 〔資料 報 9.〕 10.0925 保毎記事 台風 15 号の爪痕 (P.43)
- 〔資料 報 9.〕 11.1002 保毎記事 JC 保険部会 40 周年記念式典 (P.44)
- 〔資料 報 9.〕 12.1003 保毎記事 水害セミナー (東京代協中央支部)(P.45)
- 〔資料 報 9.〕 13.1004 ヤフーニュース 地震保険関連 (損保協会)(P.46-50)
- 〔資料 報 9.〕 14.JCM 9 月実績等 (P.51-53)
- 〔資料 報 9.〕 15.阪神ブロックコンベンションちらし (P.54)
- 〔資料 席上配付資料〕 住宅の水害被害に備えるために (損害保険料率算出機構)(席上配付資料 P.9-16)

〔監事講評〕

渡辺監事から以下の通り監事講評があった。

- ・ 本日は報告事項が中心であったが、スムーズな運営で、適正に議事運営がなされたものと判断する。
- ・ 中島理事と井上理事の取り組みが特に印象に残った。中島理事の組織委員会の現状と課題・対策シートにはブロックごとの状況が一覧で記載されており、横比較もでき、わかりやすい。また、井上理事の理事通信での参加者へのコメントも素晴らしい。
- ・ 11/1、2 日はいよいよコンベンション開催。全員で協力し合い、成功させよう。
- ・ 台風 19 号が迫ってきている。役員の皆さまの活動拠点へのご無事の帰還を祈念する。

以上

< 諸会議開催予定 >

2019年10月～2020年07月のスケジュール (案)

損保会館の予約状況ならびに会議体のあり方の改定状況によっては、日程の変更がありますので、予めご了承ください。

2019年度	10月10日(木)	10:30～17:00	正副会長専務理事常務理事打合せ	日本代協 会議室
	10月11日(金)	9:30～10:45	正副会長打ち合わせ	日本代協 会議室
		11:00～17:00 18:00～	第5回理事会 テーマ:通常議題 損保協会との懇談会(損保協会 主催) (正副会長と3理事)	会場 とうふ屋うかい 芝
	11月1日(金)	13:00～20:00	第9回日本代協コンベンション	グランドニッコー東京 台場
	11月2日(土)	10:00～12:00	第9回日本代協コンベンション分科会	損保会館、ホテルジュラク他
	12月9日(月)	10:30～12:00	正副会長打合せ	日本代協 会議室
		13:00～17:00	第6回理事会 テーマ:通常議題	
	12月10日(火)	11:00～17:00	第2回ブロック長懇談会	損保会館 大会議室
		17:00～18:00	セミナー	会場 損保会館3F 食堂
		18:10～19:30	同上懇親会(有志・会費制)	
2月7日(金)	9:15～10:15	正副会長打合せ	日本代協 会議室	
	10:30～12:00 13:00～17:30 18:00～	財務委員会 第7回理事会 テーマ:事業計画案、他通常議題 損保協会との懇談会(損保協会主催)(正副会長と3理事)	会場 未定	
2月18日(火)	15:00～17:30	活力研(正副会長、企画環境・ビジョン委員長)	日本代協 会議室 懇親会あり	
	17:45～20:00	懇親会	会場 未定	
3月9日(月)	10:30～12:00	正副会長打合せ	日本代協 会議室	
	13:00～17:00	第8回理事会		
3月10日(火)	10:00～12:00	臨時総会	損保会館 2F(大会議室)	
	13:00～18:00	政連通常代議員会・第2回全国会長懇談会	"	
	18:10～19:30	同上懇談会(有志・立食・会費制を予定)	会場 損保会館3F 食堂	
2020年度	5月8日(金)	10:30～12:00	正副会長打ち合わせ	日本代協 会議室
		13:00～17:00	第1回理事会 テーマ:通常課題	
	6月15日(月)	10:30～12:00	正副会長打合せ	日本代協 会議室
		13:00～17:00	理事・理事候補者情報交換	
	6月16日(火)	10:00～	来賓ご挨拶 / 通常総会	損保会館2F(大会議室)確定
		11:30～12:00	新体制理事会(2020年度第2回理事会)	
		13:00～14:00	政治連盟臨時代議員会	
		14:00～17:00	第1回全国会長懇談会	
		17:15～18:15	セミナー(予定)	
	18:30～19:30	同上懇談会(有志・立食・会費制を予定)	損保会館 (3F)	
6月17日(水)	9:30～16:00	新任会長オリエンテーション	日本代協会議室	
	9:30～12:30	新体制理事打合せ	有楽町リファレンス205会議室	
7月3日(金)	15:30～17:30	業界紙懇談会(会長、広報担当副会長、広報委員長)	日本代協 会議室 懇親会あり	
	17:45～20:00	懇親会	会場 未定	
7月8日(水)	10:30～18:00	新体制理事合宿	日本代協会議室	
7月9日(木)	9:30～12:00	新体制理事合宿		
	16:00～17:30 17:45～20:00	損保7社懇談会(正副会長、教育・組織委員長) 懇親会	日本代協 会議室 会場 未定	
7月10日(金)	10:30～12:00	正副会長打ち合わせ	日本代協 会議室	
	13:00～17:00 17:00～18:00	第3回理事会 テーマ:通常議題 セミナー	(懇親会 無)	
7月17日(金)	15:00～17:30	活力研(正副会長、企画環境委員長)	日本代協 会議室 懇親会あり	
	17:45～20:00	懇親会	会場 未定	

以上をもって、議長は理事会の終了を宣し、午後3時40分閉会した。
上記理事会議事録を作成し、議長並びに議事録署名人が記名押印する。

2019年10月11日

議長 会長 金子 智明 印

議事録署名人 監事 杉本 恭三 印

議事録署名人 監事 渡辺 眞一 印

議事録署名人 監事 吉川 正幸 印